

シグマ研究委員会
JENDL-3 検討小委員会合会議事録

日 時 昭和 55 年 10 月 20 日 (月) 13 : 30 ~ 18 : 00
場 所 高速炉エンジニアリング (株) (FBEC) C 会議室
出席者 山本 (FBEC) , 飯島 (NAIG) ,
関 , 田中 , 五十嵐 , 浅見 (原研)
オブザーバ : 菊池 (原研)

配布資料

1. 「 JENDL-3 に関するアンケート調査 」 の結果
2. アンケート調査に対する核データセンターの見解

議 事

1. 一般報告 (田中氏)
2. アンケート調査結果の報告
先に行った JENDL-3 に関するアンケート調査結果の概要について、浅見氏から資料(1)により説明があった。
3. アンケートに対する見解
田中氏より議事 2 の JENDL-3 のアンケート調査結果に対する原研核データセンターの見解について、資料(2)により説明があった。
4. 討 議
議題 2, 3 に関し討議を行った。主な討議内容は次のとおり。
(i) 「中性子生成データは、中性子放出の個々の反応データから構成できるのでまとめたものはあえて作らない」との見解に対して、核融合開発の立場からは、中性子生成データは是非とも必要なので考慮して欲しいとの強い意見が出された。議論の結果、中性子生成反応の DDX データはシグマ研究委員会で別途考慮することにした。

- (ii) 放射化断面積，アイソマー生成断面積の要望については，今迄，利用者は activity の評価等においてこれらのデータをどのように処理し，どんなデータを使用してきたのかを実際にやっている人に当って調査した上で検討することにした。
- (iii) 荷電粒子放出反応の角度分布，スペクトルについては，評価値をつくれるほどのデータがあるのか等，データの現状を調査した上で検討することにした。
- (iv) 「covariance file については12月の討論会を経て決めるのがよい」との見解に対し，少なくとも diagonal error（評価値の分散）は与えることに決めてよいとの意見が出された。
- (v) 「dosimetry file の要望が多い」ことについては，ENDF/B-V の dosimetry file 等が利用できることを考慮しても尚且つ何故必要なのかを利用者に詳しく聞いてみることにした。

その他に，dosimetry file，standard file 等については国際協力で行えないかとの意見もあった。これに関連して，最近ヨーロッパで評価済みデータの統一ファイルを作ろうとする動きに関して議論が行われた。

また，田中氏から，原田氏から指摘された次の問題点

- special file，covariance file を作る余力があるか？
- JENDL-2 の核融合炉用データの見直しをどうするか？
- 体制（man power）の強化の問題

が紹介され，討議が行われた。そのうち，核融合炉用の JENDL-2 データについては，ENS での照射実験に採り上げられている ${}^6\text{Li}$ ， ${}^7\text{Li}$ ，O， ${}^{12}\text{C}$ ，ステンレス・スチールに関係するものだけでも JENDL-2 の段階で整備することにした。

以上の議論の結果を，JENDL-3 検討小委員会の見解としてまとめて10月24日の運営委員会に報告することにした。